第 1 版（2026 年 9 月 4 日作成）

信州大学医学部附属病院で
過去に手術を受けられた患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「術後集中治療室入室患者におけるアセトアミノフェンおよびフルルビプロフェンアキセチルの投与方法と術後疼痛および有害事象との関連:後ろ向き研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	術後集中治療室入室患者におけるアセトアミノフェンおよびフルルビプロフェンアキセチルの投与方法と術後疼痛および有害事象との関連:後ろ向き研究
所属(診療科等)	集中治療部　麻酔科蘇生科
研究責任者(職名)	飯田　圭輔(助教)
研究実施期間	医学部長による許可日～2031 年 3 月 31 日
研究の意義、目的	術後集中治療室に入室した患者における鎮痛薬の投与方法と、術後の疼痛および有害事象の発生状況を把握することを目的とした研究です。
対象となる方	2024 年 4 月 1 日から 2026 年 8 月 31 日の期間に当院で手術を受け、術後集中治療室に入室された方
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、電子カルテ、麻酔記録、手術記録、術後回診記録、ICU 記録など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、鎮痛薬の投与方法と術後の疼痛および有害事象の発生状況との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名):　飯田　圭輔(集中治療部　麻酔科蘇生科・助教) 電話:0263-37-2670

既存の診療記録や検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。